

市指定文化財<史跡>

きくの いけあと 菊之池跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市深川



深川の河岸段丘の下に、隈府扇状地の豊かな湧水地があった。この池が「菊の花」の形に似ていたことから、「菊之池」と呼ばれ、ここから「菊池」の地名が起こったと言われる。また、池の周りに菊花が咲き乱れていたのも、菊之池と呼ばれたとの説もある。。

池の北東、約50mに菊池氏初代則隆の墓があり、その東約200mのところに「菊之城」跡がある。池の南、菊池川の自然堤上には佐保川八幡宮があり、川に面して深川の河港があった。対岸に赤星の河港もあり、古くから高瀬を通じ各地との交易が盛んだった。

菊池氏も菊之池の湧水を利用して館を構え、河港を押さえて各地と交易を広めたと考えられる。佐保川八幡宮の東の竹林には、五輪塔も多数存在した。このことから、この近くには菊池氏関係の人々の居館があっただろうと推察される。